

組合後継者の育成 「人脈づくり、情報交換、ビジネスチャンス」の場です

新しい風が吹いている

冷戦構造が崩れて20年、この間世界ではソ連邦の消滅や欧州連合の出現。EUの中心国の一つである統一ドイツでは旧東ドイツ出身の女性首相が生まれ、米国ではWASPの壁を乗り越えてアフリカ系大統領が誕生しました。そして中国、インド、ブラジルなどの経済的台頭により、かつてのG7はいまやG20の時代になりました。

一方、我が国でもバブル経済とその崩壊を経験し、野党第1党の政党が総選挙で過半数を獲得して政権交代が起こりました。これは戦後初めてのことだそうです。政権交代は起こらないという戦後政治の神話は崩壊し、日本の政治・経済・社会は確実に新しい時代を迎えております。

このように内外の環境はめまぐるしく変化しております。確かに新しい風が吹いているのです。企業経営は環境適応業だともいわれております。中小企業の後継者や

青年経営者の皆さん、素晴らしい仲間とビジネスチャンスに出会い、自社の核になる事業を高度にするためにも、組合に青年部をつくらせて、中央会の青年中央会に参加してみませんか。

資源を共有化した共同事業

中小企業は一般に経営規模が小さく、資金調達力や情報収集力が弱い、人材や信用力が不足している等、会社経営のうえで不利な立場に立たされている場合が少なくありません。さらに、最近の国際的な金融経済危機や情報化の進展、エネルギー・環境問題など多くの課題を抱えております。

中小企業がこのような厳しい環境に対応して自立的に発展していくためには、個々の企業の自助努力が欠かせないのは当然ですが、それには自ずと限界があります。

中小企業同士が組合をつくり、お互いの資源を組合に持ち寄って共同事業を通して自らの企業を充実・強化していくことが組合の存

在理由です。

組合青年部への期待

会員企業の経営資源を共有した共同事業の立ちあげや、現在ある共同事業を再生・活性化させるときに、青年部が中心となってお互いの技術やマーケティングのノウハウを提供しあい、新技術や新製品の研究開発、環境関連などの新しい事業分野の開拓、情報ネットワークの構築、地域資源を活用した新たなビジネスチャンスの創出等を企画・提案して、親組合の共同事業を通して自社の活性化や業界の繁栄に寄与することなどが期待されております。

組合青年部の意義

このことが実現すれば、組合青年部は組合の再生・発展に大きな力になります。青年部としても、このような親組合への事業協力を通して、将来の組合・業界指導者として必要な知識の体得に役立てることもできます。

親組合の執行部は次代を担う青年部に対して経営管理者としての自覚を持たせ、青年部員の一人ひとりに組合及び業界の一員としてのポジションを自覚させ、本人はもとより同業者や取引先に対しても後継者としての認識を持たせることが肝要です。

経営資源の充実といっても中小企業の場合、突き詰めると結局は人的投資に尽きるのではないのでしょうか。教育こそが企業や組合の明日への飛躍につながるのであり、青年部こそがその受け皿になるものと思われれます。

フレッシュな頭脳と行動力、そして社会に対する責任感を持った、勇気ある経営者こそ、現在のような経済・社会環境には最も適した経営者であると言えましょう。

組合青年部の中から次代を担う創造力と責任感と豊かな人間性を備えた中小企業の経営者が育っていくのか否かによって組合青年部の存在する意義が問われることになります。

組合青年部を作ろう

青年経営者や後継者の中から青年部設立の意欲が煮詰まった段階で、親組合に青年部の設置の働きかけをしてください。組合側の納得が得られるよう、熱意と誠意をもった前向きな説得が必要です。

青年部の正式な設立には、設立総会を開くことが必要です。設立総会を開催するには青年部への参加を募ると共に、青年部規約、事業計画、収支予算、青年部役員候補者、設立総会の運営について事前の検討を行います。

青年部設立総会には親組合の理事はもとより取引先などの関係者にも出席をお願いし、内外に広く青年部の設立と青年部会員の総意を示すことが重要です。

設立総会の運営については、前もって打ち合わせを行い、円滑に進行させましょう。議事進行にあたっては、組合の創立総会にほぼ準じたものとなります。

議長により議案を上程、出席会員（青年部）により審議し、その可否を決めます。

設立総会終了後には各種議案の審議内容・結果について議事録を

作成し、記録として残しておくことも大切です。

また、総会終了後には設立披露の懇親会等を開催して、青年部の内部は勿論、親組合や関係機関の皆様にも認知してもらいコミュニケーションをとることも必要なことではないでしょうか。

設立総会を経て正式に組合青年部が発足されるわけですが、活動にあたっては親組合の円滑な運営に資すると共に青年部としての自主性を発揮することも心掛けてほしいものです。

親組合や青年部の実態にあった事業計画・収支計画を総会に見直すことも大切なことです。

さらに、組合青年部の設置にあたっては親組合の総会においてその承認を得て、組合の定款に青年部の設置規定を明文化することも、青年部と組合が連携を深める手段の一つになります。

青年部規約についても、親組合の各種規約類の一つとして組合の総会において承認を受けることになりますが、これらにより、組合青年部活動の信用・信頼が得られることにもつながるのではないのでしょうか。

青年部が発足したら、中央会の青年中央会に入会しましょう。

青年中央会に加入しよう

千葉県中小企業団体青年中央会は、1976年に千葉県中小企業団体中央会の青年部として結成され、1987年には一層の飛躍を図るために、青年中央会へと改組され、自主的な運営組織としてパワーアップしました。以来、歴代代表幹事をはじめとした先輩諸兄の熱意とご尽力によって、青年経営者や後継者の育成と相互研鑽の場として今日に至っております。

青年中央会からは千葉県中小企業団体中央会の坂戸誠一会長をはじめ、多くの協同組合運動のリーダーを輩出しておりますし、千葉県8区の松崎公昭衆議院議員も青年中央会のOBです。

なお、青年中央会のメンバーは次のとおりです。

- ▼千葉県製麺工業（協）▼千葉県資源リサイクル事業（協連）▼千葉市工業センター（協）▼千葉市鉄工業（協）▼千葉市上下水道指定工事店（協）▼千葉鉄工業団地（協）▼千葉県豆腐商工組合▼船橋機械金属工業（協）▼船橋青果卸売（協）▼船

- 橋総合卸商業団地（協）▼（協）船橋トラックセンター▼千葉県漬物工業（協）▼柏駅前第二商業（協）▼千葉県菓子工業組合▼野田市鉄工業（協）▼浦安魚市場（協）▼白井ショッピングセンター（協）▼（協）

- 千葉県鐵骨工業会▼（協）東金ショッピングセンター▼茂原卸商業団地（協）▼千葉県学校給食パン・米飯（協）▼千葉県コンクリート製品（協）▼千葉県旅館ホテル生活衛生同業組合▼（社）千葉県産業廃棄物協会▼千葉県電気工事工業組合▼千葉県塗装工業（協）▼千葉県海苔問屋（協）▼千葉県中古自動車販売商工組合▼千葉県ビルメンテナンス（協）▼千葉県テント

- シート工業組合▼流山工業団地（協）▼山武管工事業（協）▼日本カイロプラクティック（協）▼千葉県建設防水工事業（協）▼千葉県農業機械商業（協）▼千葉県解体工事業（協）▼労務システム管理高橋宏哲事務所▼（有）草の実工房すずき印刷▼松戸市一般廃棄物処理事業（協）▼（有）バシコム▼（株）水楽▼千葉県廃棄物リサイクル事業協

◎詳細は工業支援課
TEL 043・242・3277